

北はりまエコニュース

ハリーン通信 Vol.22

不法投棄を許さない地域づくり

不法投棄防止地区の活動紹介～小野市浄谷地区～

不法投棄防止監視カメラ設置状況

～ 加東市 長井地区・社四区・多井田地区 ～

団体の取り組み

ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 総会・研修会

環境学習の取り組み

はばたんの環境学習～三木市立緑が丘東幼稚園

= 平成28年度グリーンスクール奨励賞を受賞 =

小野市立小野特別支援学校

「木縫^{きぬ}の里」で自然体験

「木縫の里」での体験学習

メッセージ

絹川喜和美 さん

森のようちえん 代表 森本直美 さん

寄稿

里山の保全に取り組む ～県立やしろの森公園～

お知らせ

地球温暖化防止推進委員の活動と研修会

ハリーン着ぐるみ貸出します

平成29年9月15日発行

兵庫県北播磨県民局県民交流室環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111 (内線341) FAX: 0795-42-7535

H P: http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！
ぜひ、事務局までお寄せください！

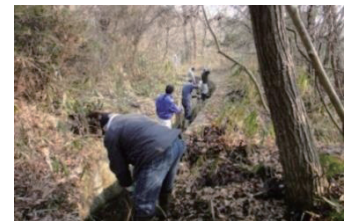


不法投棄防止地区の紹介 ～小野市浄谷地区～

小野市浄谷地区は、小野市のほぼ中央に位置し、ひまわりの丘公園を含む、住宅地と農地が一体となった地域です。農業用のため池がたくさんあり、ため池を活用したフロート式太陽光発電を行っています。

浄谷地区では、「不法投棄をさせない環境づくり」を目指し3名の不法投棄防止活動指導員の方々を中心に、地域の方々が協力して定期的な見回りや道路や田畑、ため池の周辺の草刈りやゴミ集め、池の保安全管理を行っています。これら活動の成果により、これまで大量の不法投棄はなかったそうです。

「きれいな場所にゴミは捨てない」と小林区長の話。不法投棄を未然に防ぐため、地域の環境美化に努力をされている浄谷地区です。



不法投棄防止監視カメラ設置状況



北播磨県民局では、平成27年度より移動式監視カメラを整備し、不法投棄の防止に向け貸し出しを行っています。平成29年度のカメラ設置状況をお知らせします。

加東市長井地区、社四区では、ゴミステーションに地区外からのゴミの持ち込みや、時間外のゴミ捨てが多いため、また、加東市多井田地区では、ゴミ袋や廃材などの不法投棄が発生していたため、監視カメラを設置しました。

設置(貸し出し)にあたっては、一定の条件を満たす必要がありますが、不法投棄にお悩みの際は県民局までご相談ください。



長井地区



社四区



多井田地区

H29 ひょうご環境保全連絡会北播磨支部 総会・研修会



総会の様子

関西国際空港では、「スマート愛ランド推進計画」を策定し、環境先進空港を目指して様々な取り組みを進めています。第2期空港島の整備において、第1期空港島への地盤沈下の影響を防ぐため、島を隔てる内部水面が設けられており、鯛やアオリイカなど約200種の生物が生息しています。釣り場の規制などにより生態系や生物多様性への配慮を行っています。



内部水面

現在空港の使用電気の7%をクリーンエネルギーでまかっています。アジアの空港で最大級の太陽光発電施設「KIXメガソーラー」を設置し、航空機離発着の妨げにならない反射を抑えたパネル7万2千枚を使い約2千世帯分の電気を発電しています。さらに、風力発電機を整備するなど、クリーンエネルギー化10%を目指しています。

平成29年7月6日、北播磨県民局において、昨年度に実施した先進地の視察や普及啓発活動の結果報告、今年度に予定している事業計画などを協議、承認するため、ひょうご環境保全連絡会北播磨支部総会が開催されました。

その後、関西国際空港において、環境への取り組みの調査として、先進事業地の視察研修を行いました。



関西国際空港

空港島内には、廃棄物処理施設が設置されており、約8万人分のゴミ処理が可能な焼却施設を2基設けています。浄化センターでは、島内各所から出た排水を2日間かけてきれいにし、トイレや航空機の洗浄に再利用しています。

また、島内では公園整備や屋上緑化が図られています。緑地の刈草を堆肥化して肥料をつくり、島内の「そら農園」で利用するほか、地域の牧場等に提供しています。その牧場のミルクでつくったアイスクリームはターミナルで販売中です。



KIXメガソーラー



「はばタンの環境学習」

三木市立緑が丘東幼稚園



兵庫県では、幼児自らが動物や花木に触れるなどの自然体験を通じて、生命の大切さに気づく力を養う「ひょうごっこグリーンガーデン」（幼児期の環境学習）を推進しています。

今年度、三木市立緑が丘東幼稚園で開催された「はばタンの環境学習」の様子を紹介します。

園内に入ると園児たちの元気いっばいな声が聞こえてきました。「はばタンの環境学習」は 6 月のお誕生会のお楽しみイベント。園児達は毎日「はばタンダンス」を練習してこの日を待っていたようです。



はばタンが登場すると歓声があがりました。

紙芝居で、水や物を大切に、食事を残さないなどのお話を聞きました。



お姉さんの質問に元気に答えています。

「はばタンダンス」はみんな上手。
はばタンと楽しく踊りました。

はばタンはみんな大好き！楽しい環境学習でした。

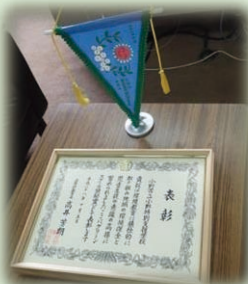
平成 28 年度 グリーンスクール奨励賞 表彰校に選ばれました！

「グリーンスクール」とは兵庫県内の公立小・中・高等学校の中で環境教育について特色ある実践を行っている学校を表彰する制度です。

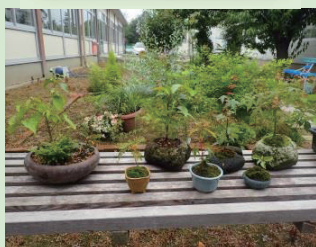
受賞

小野市立小野特別支援学校

「里山の環境保全と紹介活動—コケ鉢づくりを通して—」



学校は青野ヶ原台地の自然に囲まれた素晴らしい環境の中にあります。平成 26 年から学校周辺のコケと山野草を使って全校生徒で「コケ鉢づくり」を実践してきました。作品はイベントで紹介したり、地域の方に差し上げています。



“中庭にかわいい作品がありました”

自然とのふれあいを通して子どもの感性を育てたい、環境保全について地域に発信していきたいという願いで「コケ鉢づくり」を始められました。「植物は多様性があっておもしろい。子どもと同じです。個々が違うし成長するタイミングも違います。作業を通して子ども達の個々の成長を見ていきたい。」と教頭先生のお話。

このような取り組みが認められ、表彰されました。



自然体験「木縫の里」西脇市住吉町

環境学習の取組み

西脇市の自然豊かな地域にある「木縫の里」。絹川武史さん、喜和美さんご夫妻が、ご自宅の周りの川や山を活かし、だれもが自然体験のできる場所を生み出しました。きっかけは、初孫さんの誕生。自然の中でのびのびと育てたいとの願いから、川につり橋を架け、町有林をどんぐりの山に変えました。

絹川喜和美さんは、『インタープリター』として活動されており、『自然と人とを繋ぐ通訳者、行動する人』を実践されています。「植物の名前や生態は専門家にお任せします。私は知識よりも自然と人の関わりを教えたいです。ここでは私のことをアマガエルさんと呼ばせませう」と楽しそうに話していました。

「木縫の里」を訪問した日、自然体験学習の小学生と元気に遊ぶ幼稚園児に出会いました。様子を紹介します。



加東市立福田小学校

マイクロバスが到着して元気な声が聞こえてきました。加東市立福田小学校の1年生が自然体験学習で「木縫の里」に来ました。1週間前に予定していた環境学習が雨天で延期になったので、今日を楽しみにしていた様子でした。絹川喜和美さんことアマガエルさんから注意を聞いたあと、川にかかるつり橋に向かいました。グループごとにつり橋を渡り、山や川に向かって「自然を大切に楽しく遊びます。」とみんなで挨拶。そして川に下りて行きました。

前日の雨の影響で水量がいつもより多かったようですが、子ども達は小川を上流に向かって元気いっぱい、歓声をあげながら勇敢に登っていきました。上流の小さな滝に、はしごをかけて登ったり段差のある水路で遊んだり、川遊びを思い切り楽しんでいました。



森のようちえん Strong-roots ～豊かな自然が学びの場～



「木縫の里」の中で元気に遊ぶ幼児たち。「こんにちは」と集まってきました。木登り、水遊び、リヤカーに乗る子、自分で遊びを見つけています。代表の森本先生のお話です。

森のようちえん Strong-roots は、「豊かな自然が学びの場」です。園舎は無く、週に3回はここで、あとは別の公園で遊んでいます。園児たちは里山や山、川、森で遊ぶことで、「感性や自発性、社会性や協調性、コミュニケーション力」を学習します。

Strong-roots とは「強く逞しい根っこ」という意味。幼児期は樹木にたとえると根っこの部分です。これを太く長く這わすと大人になっても倒れることはない。つまり幼児期のすべての経験が生きる力になるということです。10・20年後を見据えて自然の中で保育をしています。【代表 森本 直美】





里山の環境保全活動って…？

人が整備をすることで、豊かな自然や生物の多様性が保たれている環境を里山といいます。いま、里山と人との関係は薄れつつあり、手入れされなくなった里山は荒れ、生態系が変化し、生物多様性が失われる原因のひとつとなっています。

里山の環境保全活動とは、森を手入れして豊かな環境をつくり、いろいろないきものが暮らしやすい場所に整える活動、生き物の調査をする活動、いま抱える課題について、広く知って頂くための活動と様々です。

この活動でとても大切なことは、コツコツ地道に「続けること」。そのため、里山の価値を見直し、多くの人々の力や知恵をもちより、それらを引継ぐ者の育成が重要となっています。



やしろの森公園では、自然豊かな里山のフィールドを活かし

- ①ふるさとの環境を知る活動
- ②森の恵みに感謝し、活用する活動
- ③生物多様性保全活動
- ④活動を広める活動

この四つの活動をボランティアスタッフである「活動スタッフ」が中心となり、保全活動に取り組んでいます。皆さんも一緒に参加しませんか。

1 ふるさとの環境を知る 環境体験事業の受け入れ

子どもたちの環境学習の場のひとつとして、環境体験事業の受け入れを行っています。自然体験や遊びを通し、五感で自然を感じる力、考える力、行動する力を育てる機会としています。自然を大切に思う心を育て、いきものたちを大切にするため、自分たちに何が出来るかを問いかけます。

自分たちの暮らす地域に、こんなにも豊かな環境があることを誇り、大切に想い守っていきたいと感じることが、環境保全活動のスタートです。



オオムラサキの自然飛来を目指してエノキの植樹（米田小学校）

国蝶である「オオムラサキ」もいま、絶滅の危機にあります。オオムラサキの幼虫の食草である「エノキ」を増やし、自然飛来を目指す活動をしています。子どもたちが大人になった時、オオムラサキが飛ぶことを夢見て、活動を続けています。



兵庫県立やしろの森公園

住所：兵庫県加東市上久米 1081-3

電話：(0795)-44-1510 FAX：(0795)44-1512

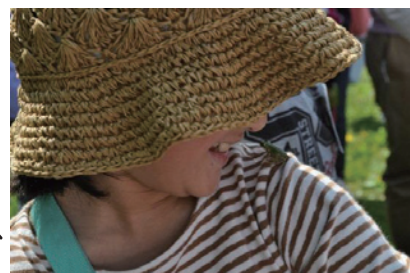
ホームページ：<http://www.ddknet.ne.jp/~satoyama/index.html>



2 里山の恵みに感謝し、活用する 四季折々の体験プログラム

里山には、多様な生きものが生息しています。ドングリなどの木の实。ササユリなどの森に咲く草花や、サワオグルマのように湿地に咲く草花。鳥の歌声や、昆虫たちのいきいきとした姿に出会うことができます。

いきものたちはみんな、食べたり食べられたり、助けたり助けられたりしながらつながり合って生きています。かつて里山では、森を手入れすることで自然を活かし、豊かな自然の恵みを頂き、感謝しながら暮らしていたのです。公園では、こういった体験を通して、森づくりへの関心を高め、自然を大切にすることを育む場を提供しています。



里山体験教室ジュニア

毎月1回小学4～6年生が里山の自然や暮らしについて体験し、学んでいます。お米や野菜を育てたり、木を切ってシイタケの原木栽培をしたり、木のぼりなどで思いっきり森の中で遊ぶ中で、森や、食べ物を大切にする心を育みます。

3 生物多様性保全活動 いきものあふれるゆめの森

自分のふるさとに暮らすいきものたちのこと、どのくらい知っていますか？絶滅するかもしれない生き物が、すぐ近くに暮らしていることを知っていますか？そういういきものを「絶滅危惧種」といい、地域ごとにその種類やランクが指定されています。

保全活動はいきものの暮らしや、環境について知ることから始まります。植生調査をしたり、活動スタッフで知恵を持ち寄り、相談しながら森づくりを計画的に実施しています。アメリカザリガニのような外来種を時には駆除することもあります。多くの方にご理解いただくことも、私たちの大切な活動の一つです。



ため池再生プロジェクト

園内には多くのため池が存在していますが、かつての豊かさが失われつつあります。ため池を救うため、「ため池再生プロジェクト」を立ち上げました。植生の再生に向け外来種であるアメリカザリガニを駆除するなど試行錯誤しつつ活動を進めています。

4 活動を広める活動 里山保全ボランティア体験

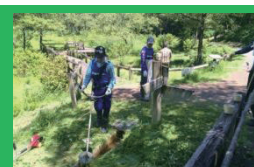
毎月第二・四日曜日、活動スタッフを中心に森林整備・田畑作業・観察会など森づくり活動を行っており、この日を「森もりの日」と呼んでいます。土に触れ、豊かな自然を感じる時。作業後は森でとれたお米や野菜の昼食をいただきます。美味しい空気の中、仲間と食べるご飯は最高です。ぜひご家族で参加しませんか！参加費は（昼食付き一人 300円）事前に申込みが必要です。詳細はホームページをご覧ください。また、森もりの日は地域・企業の方、地元大学生・高校生とも協働で進めています。

多様な関わりが、公園の保全活動の広がりにつながることを祈りつつ…目指すは「日本一の里山公園」です。



企業の森づくり

企業の社会貢献活動として「里山保全」を協働実施しています。自然に触れる場、環境を学ぶ場、地域交流の場、社員さん同士のコミュニケーションの場としてなど、企業と共に持続可能な森づくりを目指しています。



お知らせ

北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会より

緑豊かな美しい地球、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくため、23名のメンバーが情熱を持って活動しています。各市町のイベントで啓発活動を行っていますので、ぜひブースにお立ち寄りください。



また、今年度も、一般参加型公開講座を実施します。お気軽にご参加ください。



「生物多様性について」 平成29年12月11日(月)開催

心豊かな時間と空間をもたらしてくれる里山は、みんなの手で守り育てて行くことが大切です。里山での「生物多様性について」お話を聞きます。

時間：14:00～16:00

場所：北播磨県民局 別館3階A会議室

講師：県立 やしろの森公園 事務局長 余部 衛 氏

※ 参加費は無料、事前申込み不要です。会場へお越しください。

荒天の場合は中止になる時があります。



ハリーン(着ぐるみ)貸出のお知らせ



昨年、加東市にある高齢者施設のお楽しみ会に参加しました。

一緒にダンスを踊ったり、ゲームをしたりして、とても楽しかったです。

もっとハリーンを北播磨のみなさんに知っていただきたいと思いますのでお気軽に申し込んでください。



北播磨県民局の環境マスコット「ハリーン」の着ぐるみを北播磨の皆様の様々なイベントで使用いただけます。

ご使用にあたっては申し込みが必要ですので、北播磨県民局県民交流室環境課までお気軽にお問合せください。

(連絡先) 北播磨県民局県民交流室 環境課

電話0795-42-5111 (内線341)



お待ちしております!

受付時間：平日午前9時～午後5時